



## 時間の前置詞

---

at-on-in

atが最小単位でinが最大。Onがその中間に位置する。

Atは単位であり、一次元的である。

Onは人間のみを概念を表すと過程する。（曜日、名前、人の行動）二次元的である。

Inは普遍的で三次元的。

Atはweekendまでが最大で、weekendにはnoonとnightが含まれている。さらに、その中にmomentが含まれている。

Inはa set of morningであり、全ての朝を含むのに対して、

Onによって限定された場合は、人間的になるからon Friday morning

Fridayは人間が決めた概念である。

Inは限定され特殊化されたらonで表す。

In a few minutesとはatによる極度の特殊化ではなく時点でもなく継続性があるので

Onか in であるがonはinの特殊化で（at、in、onときて、onはinの例外を示すのか？）

金曜日の数分後という表現はないのでinが使われる。

In a few minutesとなり、inの一般性を継承して不定冠詞が使われている。

（文章には一貫した概念、例えば否定的な文ならどの句や語も否定的なものが使われるのだろうか。空間と時間については変えることが不可能であるから、どの文章も必ず一貫した表現で通されるかもしれない。）

At Christmasだがon New Year's Eveというのは、eveは人であるから、

人を表すonが使われ、Christmasはキリストで、生誕祭だから誕生の瞬間を意識してatが使われるのであろうか。

## 空間の前置詞？

---

飛行機などの移動サービスで、飛行機の到着時間は、個人が決めるのではなく、会社が決定すること、つまり、人が個別に乗る時間を設定する場合は、onが、搭乗してしまった場合は皆が会社に任せる一般的なin

In が動詞と共に使われた場合、例えばfillなどは空間がないと意味をなさない。

そこで三次元的なinが使われて、

Fill inという句動詞が作られる。

Fill in 空間 空間を満たすとは空間の果てがなくなることであり、「果たす」となる。

疑問はなぜ代名詞はfill x inとなるのだろうかというもの。この場合は、xはfillの目的語である。するとinが取り残されて、満たすべき空間が提示されていない。

何かが省略されている可能性がある。省略されているのはxである。なぜならxにxを満たすと、空間が全て限界まで満たされ、果たすとなるから。

## 認識の前置詞？

---

またon,offについての仮定は、

Onは認識内を、offは認識外を表すのではないかというもの。

認識の世界が、時間を表すonでも人間固有に認識される概念として使われていたのではないか。

認識の世界から外にでたら、認識外で、nod offは眠りの世界。Finish offは仕上げるとの意味だと思っただけ、そうだとしたら終わらせるという認識を認識から外す。認識は意識している限り外せないものだから、何か目的が終わったら、ようやく終わらせるという認識が外されることになり、その外す行為がfinish off

Show offは他人という自分の認識の外に、他の認識にshowすることであり、ひけらかすという意味となる。

Tell somebody offは自分の認識外で伝える→制御不可の伝達→怒り

Offがonの反対だとすれば、onの人間的な側面からも反対となり、非人間的な側面を持つようになる。English grammar in useにoffの定義がaway from a person or placeとあるから非人間的な方向へ向かうと解釈してもいいかもしれない。

Take off は見送る人にしてみれば、自分の認識の外に行くということであり、陸に住む人間にしてみれば空とは非人間的な空間であるから離陸するということである。また、take off the placeとすれば、offは形容詞とすると非人間的な場所をtakeするということになりはしないか。

Set offとは自己の文化圏からの離脱で、過去に旅とは命の危険を伴うものであったから非人間世界へと向かうことであった。

Verb+ onがcontinue doing somethingだとすればその解釈は、人間の認識内にある動詞的行動をするということで、認識される限り、続くのである。

Get on がprogressだとすれば人間の領域内でなにかを得ることは、争いをすればただちに牢獄へと入れられてしまうから争いがなく穏便にことが進み、それが動物的な社会からの前進という形で、進歩を意味しprogressと同意となった。

Outに関しては外への移動という見地からすると家の外は冷たい、夜は暗い、だから火がなく明かりがない。これがnot burning, not shiningがoutで定義される理由。内から外の空間への移動である。

**Work out**は内から外へ働きに出る。機能する意味の**work out**は内にこもったしかけが現象として外に表れる。

**Find out=get information** 自分の知らない情報は自分の外にあるから、外で見つけるとは情報をえること。

**Point out** とは要点をあらわにすること。。